

目次

序	文	天理大学長 永尾比奈夫
凡例	例	
目次	次	

第一部	天理外国語学校の創立から天理大学の創設へ	13
-----	----------------------	----

第一章	天理外国語学校・天理女子学院の開設	15
第一節	天理教における学校開設をめぐる動き	17
第二節	天理外国語学校開設に至る経緯	30
第三節	天理外国語学校の設立	46
第四節	校舎の建設と教職員組織	73
第五節	専門学校令への準拠	86
第六節	天理女子学院の開設	107

ヨヲム一	天理大学の歴史を綴った三冊の年史	122
ヨヲム二	新聞記事で見る本学の創立から校舎建設まで	125
第二章	組織の変遷と戦時下の教育	133
第一節	学則変更に見るカリキュラムの変遷	135
第二節	教育研究活動の展開	154
第三節	陸軍特別大演習と昭和天皇来校	168
第四節	財団法人天理教いちれつ会の設置および諸組織の結成	182
第五節	一九三〇年代の教育制度の変化と天理女子専門学校の開設	192
第六節	戦時下の教育活動と学徒動員	203
第七節	一九四〇年代の組織改革	223
ヨヲム三	外国語劇	265
ヨヲム四	天理外語航空部	275
第三章	「復元」の提唱と新制天理大学の創立	283
第一節	戦後の学制改革と新制大学の創立―GHQの宗教政策と教育事業	285
第二節	新制天理大学の発足と「復元」の精神 ―宗教学科の設置と信条教育の具現化	296

第三節 短期大学部の設置から外国語学部を増設へ

―さらなる「復元」のあゆみ―

コラム五 「ハッピ」

第四章 日本の高度成長期と大学改革

第一節 一九五〇年代から六〇年代における高等教育

第二節 一九六〇年代の経済的成長と大学の拡大

第三節 学生運動と大学改革

第四節 大学改革への歩み

第五節 学生たちの活動

第六節 附属施設と大学教育

コラム六 「空からみるキャンパスの変遷」

コラム七 天理大学祭

348
389
401
403
430
451
476
507
534
556
570

第二部	天理大学の改革と発展	577
第五章	天理大学における教育の国際化	579
第一節	海外協定校との交流史	581
第二節	海外研修プログラムと夏期日本語講座	601
第三節	多様化する国際プログラム	622
㊦㊧㊨	「LL教室からCALL教室へ」	638
㊦㊧㊩	選科日本語科	647
第六章	大学改革と教育内容の刷新	657
第一節	天理大学改革案の策定	659
第二節	新学長の就任と改革案の実施	666
第三節	改革後の大学運営体制	683
第四節	柚之内ふるさと寮南寮における民族差別暴行事件	684
㊦㊧㊰	校舎落成と創立一〇周年記念	695

第七章 二一世紀の社会への対応と建学の精神……………701

第一節 大学審議会の答申と天理大学の二一世紀への対応……………703

第二節 三センターの設置と教養部の解体……………747

第三節 国際文化学部 of 改組——一学科を二学科へ……………771

第四節 大学院・臨床人間学研究科臨床心理学専攻（修士課程）の設置へ……………790

第五節 建学の精神と現代社会……………807

㊦㊧㊨ 養徳橋と大望の像……………820

第八章 現在の天理大学とこれから……………825

第一節 天理大学ビジョン二〇二五の策定……………827

第二節 二〇一九年度新カリキュラムに向けて……………834

第三節 天理大学ビジョン二〇二五の具体化に向けて……………837

第四節 新型コロナウイルス感染症の拡大と対応……………849

第五節 天理医療大学との統合、医療学部の新設……………874

第六節 ウクライナからの避難民の受け入れ……………880

第七節 二〇二四年度新学部学科の新設改組……………883

㊦㊧㊨ 収蔵資料からみるラグビー部の歴史……………898

第三部 百年のあゆみ 907

天理大学とスポーツ	909
杣之内ふるさと寮	995
豊井・豊田・三島ふるさと寮（女子寮）	1001
田井庄ふるさと寮	1045
前栽ふるさと寮のあゆみ	1048
田町ふるさと寮への想い	1055
ラグビー寮	1062
野球寮	1067
学生寮と学生生活「水鏡寮」	1079
朝鮮学会	1089
天理台湾学会の創設と学術活動のあゆみ	1115
天理大学アメリカス学会	1133
学生自治会	1168
学生自治会（心光会） 歴代総務委員長アンケート	1215
よふぼく会	1255

天理大学雅楽部	1278
ふるさと講	1289
天理大学附属天理図書館	1292
天理大学附属おやさと研究所	1327
天理大学附属天理参考館	1355
天理大学ふるさと会	1369

編集後記
執筆担当